衆議院内閣委員会ニュース

平成 24.6.14　第 180 回国会第９号

6 月 14 日（木）、第９回の委員会が開かれました。

1　地域再生法の一部を改正する法律案（内閣提出第 16 号）
　構造改革特別区域法の一部を改正する法律案（内閣提出第 17 号）
・川端国務大臣から提案理由の説明を聴取しました。

2　内閣府設置法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 31 号）
・古川国務大臣、奥村文部科学副大臣、牧野経済産業副大臣、吉田国土交通副大臣、園田内閣府大臣政務官、中野外務大臣政務官、神風防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
・津村啓介君（民主）提出の修正案について、提出者津村啓介君（民主）から趣旨説明を聴取しました。
・原案及び修正案に対し、吉井英勝君（共産）が討論を行いました。
・修正案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決されました。
　（賛成－民主、自民、公明、みんな　反対－共産）
・修正部分を除く原案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決され、本案は修正議決すべきものと決しました。
　（賛成－民主、自民、公明、みんな　反対－共産）

（質疑者及び主な質疑内容）

河　村　建　夫君（自民）

・宇宙関係予算の編成については、これまでのように各省縦割りで上げてくる予算を取りまとめるということではなく、内閣府が政府全体としての戦略的な方針を示し、強力な指導力を発揮するべきではないか。
・実用準天頂衛星システムの整備については、平成 23 年９月の閣議決定において、2010 年代後半までにまずは４機体制を整備するとしており、できるだけ早く実現する必要がある。補正予算などを活用し、整備を進めるべきであると考えるが古川国務大臣の見解を伺いたい。
・宇宙産業の国際競争力を強化することが必要であり、独立行政法人宇宙航空研究開発機構（ＪＡＸＡ）について、国際競争力の強化という面から事業を進めるべきではないか。

本　村　賢太郎君（民主）

・今回の改正により、ＪＡＸＡの業務に、民間事業者の求めに応じて援助及び助言を行うことを追加しているが、ＪＡＸＡの宇宙産業支援の取組や宇宙産業育成に向けての政府の取組について伺いたい。
・宇宙科学研究予算をしっかり確保していく必要があると考えるが、政府の見解を伺いたい。
・現在、文部科学省の宇宙開発委員会の委員は国会の同意人事となっているが、新たに内閣府に設置される宇宙政策委員会の委員については、国会同意人事としていない理由は何か。

遠　山　清　彦君（公明）

・我が国の宇宙開発利用について司令塔機能を確立しようとする今回の改正案において、ＪＡＸＡの主務大臣として、内閣総理大臣と経済産業大臣が追加されるとともに、政令により、個別プロジェクトに応じた主務大臣を追加することができるとされている。このようなＪＡＸＡの主務大臣の増加に対しては、省庁縦割の弊害が懸念されるが、古川大臣の所見を伺いたい。
・宇宙関係予算については、新設される宇宙政策委員会がその方針を示すことになるが、予算の計上は従前どおり関係省庁が行うことになっている。このように一括計上されない予算では戦略性やリーダーシップが見えにくいと思うが、古川大臣の所見を伺いたい。
・内閣府に新設される宇宙政策委員会と既設の総合科学技術会議との間では、役割分担や権限はどのようになっているのか。また、同委員会の委員について国会同意人事としていないのはなぜか。

吉　井　英　勝君（共産）

・ＪＡＸＡの目的規定から「平和の目的に限り」との文言を削除する趣旨は何か。
・政令により防衛大臣がＪＡＸＡの主務大臣に追加された場合には、各種軍事衛星の開発にＪＡＸＡの技術や人員が動員さ

れるおそれがあるのではないか。
・宇宙政策委員会の委員を国会同意人事とせず、専門的知見を要求しないことは、軍需産業に対する監視を困難にするものであって、妥当ではないのではないか。

浅　尾　慶一郎君（みんな）

・宇宙関係予算の一元化に向けた今後の方向性について、古川国務大臣の見解を伺いたい。
・各府省における宇宙関係の予算や戦略機能について、内閣府に移管する予定があるか、移管する場合にはどのような内容となるのか。
・宇宙関係の研究開発と実用技術を結びつけるための取組、両者の結びつきに対して今般の法改正がもたらす効果について、古川国務大臣の見解を伺いたい。